

心に残る文化財子ども塾 活動の概要と様子 ～ 江津市立郷田小学校 ～

1. 概要

7月1日(月)、江津市立郷田小学校で『心に残る文化財子ども塾』を開催しました。はじめに、郷田小学校周辺の遺跡や勾玉の謎について、スライドやプリント、遺物などを用いて学習しました。自分たちの身近にある遺跡や、勾玉にまつわる諸説に触れ、地元の歴史への興味関心を持ってもらうとともに、勾玉についての知見を深めることができました。

次に、勾玉づくり・古代衣装体験を行いました。体験中は、勾玉の形の謎を考えながら取り組んでもらい、自分が思い描いた形に近づけられるよう、工夫を凝らしながら作業を行いました。勾玉が完成したら、古代衣装体験を行いました。カラフルな古代衣装に自分だけの勾玉を身に着け、思い出に残る体験活動となりました。

2. 様子

1) 勾玉づくり体験に挑戦



勾玉の丸みを作るのが難しい！

2) 古代衣装を着て記念撮影



みんな素敵な勾玉ができました！

3. 子ども塾を終えて

1) 児童の皆さんから…

- ・勾玉は何時間もかけて作ることを初めて知った。
- ・自分だけの勾玉(鳥の形)を作れたので良かったし、勾玉のすごいところやモチーフにされている形などを知れて楽しかったし、勉強になりました。
- ・もっと、島根にあった遺跡や勾玉などのものについて知りたいです。
- ・江津市で勾玉、縄文土器以外に何がでてきたら知りたい。

2) 担任の先生から…

- ・住んでいる場所、身近な場所の周辺で遺跡が発掘されていることを知り歴史をより身近に、自分とのつながりを持ったのだと認識できた。
- ・授業ではなかなか見せることができないので、土器の出土の様子の写真は理解が深まったと感じている(子供達の反応も大きかった)。
- ・発掘の道具等も分かれば、よりおもしろい、知りたいなと思いました。

3) 埋文センターから

授業に勾玉づくりに古代衣装体験と、かなり盛りだくさんな内容でしたが、子供たちがみんな熱心に聞いてくれて、最後までスムーズに授業をすることができました。勾玉作りの最中は、思った形を再現することの大変さや、なぜこのような形になったのかを考えながら体験することができました。最後の古代衣装体験では、全員がオリジナルの勾玉を身に着け、先生や江津市教育委員会の方々も加わっていただき、素敵な記念写真を撮影することができました。思い出に残る一日になったかと思います。